

HASSAN AKKAD

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- BAFTA and Emmy award-winning filmmaker, photojournalist and activist
- Signed up to work as a cleaner at his local NHS hospital on the frontline of the Covid-19 epidemic



Topics

- Activists
- Covid-19
- Environment
- Society

ハッサンアッカドは、現在ロンドンを拠点とするBAFTAおよびエミー賞を受賞した映画製作者、フォトジャーナリスト、活動家です。彼はヨーロッパと中東の難民に擁護活動と人道的支援を提供する英国を拠点とするNGOであるChoose Loveの大使であり、2020年4月にCovidの最前線にある地元のNHS病院でクリーナーとして働くように登録しました。-19流行。2020年5月、彼はNHSサポートスタッフに対する死別支援の政府によるUターンに貢献し、英国をはじめとする移民や難民の権利を擁護するために一貫して彼のプラットフォームを使用してきました。

アッカドはダマスカスで生まれ育ち、アサド政権下の収監と拷問を受けて2012年にシリアから追放されました。彼はヨーロッパへの危険な旅を撮影しました。これには、トルコからギリシャへの地中海のボートが含まれBBCドキュメンタリーシリーズ「エクソダス：私たちのヨーロッパへの旅」の基礎となっています。2017年、エクソダスはBAFTAにBest Factual Seriesを授与されました。アッカドは彼の受け入れスピーチで、ドキュメンタリーの物語は彼の昨日であったが、「これは誰かの今日と明日だ」と覚えておく必要があることを聴衆に思い出させた。彼は続いて、第2シリーズのアシスタントプロデューサーとして働きました。

2017年以降Akkadはテレビ制作、ジャーナリズム、ドキュメンタリー写真に携わっており、芸術に基づく活動の第一人者としての地位を確立しています。彼の功績には、受賞歴のあるチャンネル4シリーズホーム、および国際レスキュー委員会と英国のビジュアルアーティスト、マーククインとのコラボレーションで制作された短編映画のオデッセイが含まれます。2020年4月、コロナウイルスのパンデミックが英国を襲ったとき、アッカドはイーストロンドンにある彼の地元のNHS病院のCovid-19病棟でクリーナーとして働くためにサインアップしました。この作品は、国内および国際的なメディアの取材を引き付け、英国以外の国民、特にCovid-19パンデミックの最前線で働く低賃金の主要労働者の権利を擁護しました。クリーナーとしての彼の仕事の間、アッカドはChoose Love and Barts Charityのために資金を集め、そのためにcovid-19の救済に向けて35,000ポンド以上を集めました。